

仏教とお寺をやさしく解説

さんが

Saiganji Sainomiyako Memorial Park News

2016年7月
第25号
(年4回発行)

お盆号

発行部数3千部

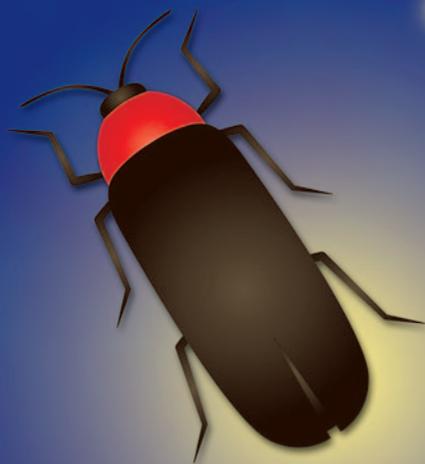
「私のお寺」菩提寺について考える

シリーズ浄土宗／「浄土教から浄土宗へ」

実践教室／年忌法要く成り立ちと目的

・西願寺大施餓鬼会法要のご案内

・お盆会／合同新盆供養のご案内



「私のお寺」 ～菩提寺について考える～

皆さん自分の菩提寺をどのような存在と捉えているでしょうか？

本来、お寺とはその地域社会の中心的な存在でした。だれでもが、気軽に立ち寄りお坊さまの話しを聞いたり、時には悩みごとの相談をしたり…。しかし、現代では、法要の時のみのお付き合いとなっている場合も少なくないようです。

私たちのお寺について、もう一度考えてみましょう。



お寺は敷居が高い？

お寺は敷居が高くお付き合いも難しいと考えていませんか？ 前述のとおり、本来は地域のコミュニティセンターのような役割を担ってきました。迷った時の相談相手となり、悩んだときの聞き役となる。そんな場所がお寺ではないでしょうか？ また皆が集まり笑顔を作る場所でもあるのです。

最近では、お寺での落語会やミニコンサート、カルチャー教室などを開催しているところもあります。お檀家の方に限らず、多くの人に門を開いているところも多いです。多くのお寺は、「開かれたお寺」を目指しているのです。



西願寺本堂外観



画 西願寺参道

では私たちのお寺、西願寺ではどのようなことが行われているのでしょうか。

六年前、現住職である丹羽義昭住職が、西願寺第三十二世に就任されてから今日まで、「多くの人がお寺に集ってもらえるように…」との思いのもと様々な行事が行われるようになりました。



10月 十三夜お月見コンサート

お寺や本堂は誰の為？

日本の各地にお寺があります。天皇が国家護持の祈願のために建てたお寺、修行の道場として建てられたお寺、そして、先祖を弔うためのお寺などお寺にはいろいろな成り立ちがあります。私たちが菩提寺と呼ぶお寺は、先祖代々のお墓があり、法要を営むお寺をいいます。しかし、お寺の本堂は、葬儀や法事をおこなうためだけの場所では

はありません。浄土宗のお寺の本堂は、宗祖法然上人の教えの念仏をするための道場でもあるのです。

自分自身のことや、生や死を考えるのにふさわしい所、心の拠りどころとなる場所、それがお寺です。「昨今の日本では、何かあった時の人と人との繋がりや絆が特に大切な時代なのではないでしょうか。そんな中、お寺はそのステーションになるような役割を果たせるのではないかと考えています。お寺を知る意味でも、皆さんに行事に参加して頂けると嬉しいですね。」と丹羽ご住職。



2月 節分会法要



三遊亭春馬師匠



丹羽義昭住職

さて、今年も八月十八日には、西願寺で大施餓鬼会法要が営まれます。施餓鬼会は、全ての仏様の為心に心を込めて供養する行事であり西願寺では、浄土宗の教区内、十一ヶ寺の僧侶が参集しお勤めします。当日は、草加市出身の落語家、三遊亭春馬師匠の落語もあります。ご家族揃ってお参りし、お寺をより身近に感じて頂きたいと思えます。

浄土教から浄土宗へ 法然上人が開いた浄土宗

浄土宗の教えのもととなっている浄土教は、インド、中国を経て飛鳥時代に日本に伝わりました。そして奈良仏教や平安初期の天台仏教では、仏教のなかの重要な教えのひとつとして浄土教が隆盛しました。しかしそれは、観想念仏が中心で、仏教自体も民衆とは無縁のものでした。



浄土教の教義を一步進め「専修念仏」を主張した法然上人

仏教の教えは、過酷な修行を自己に課し自力で悟りの境地をめざす〈難行道〉と阿弥陀仏に一切を託し、救われることを信じ悟りを得るといふ〈易行道〉にわけられ、浄土教の教えは易行道とされ〈浄土門〉といわれています。そして、浄土宗を開いた法然上人の説いた〈専修念仏〉の教えは、むずかしい学問も修行もいらないうたすら、南無阿弥陀仏と念仏をとるだけで極楽浄土に往生できるといふ革命的な教義でした。

往生極楽のためには、南無阿弥陀仏と申して、疑いなく往生すると思いとりて、申すほかには別の子細候わず。

『選択本願念仏集』

※極楽往生したければ、念仏すれば必ず往生できるのだと確信すること、それだけが求められている。

それまでの仏教の教義はどれも相應の知識を必要としたため、民衆には手が届かないものであった為、法然上人の教義は、民衆心をとらえ多くの人々に広まっていったのです。

念仏申さんものはただ生まれつきのままにて申すべし

『選択本願念仏集』

ほかの一切の修行を捨てて念仏のみをとることを〈専修念仏〉といい、これが浄土宗の教えの根幹なのです。

「年忌法要」成り立ちと目的

年忌法要は、年回法要ともいい一般的には法事とも呼ばれています。



年忌法要の成り立ち

三回忌までの法要は、インド、中国の習慣を取り入れたもので、それ以降の年忌法要は日本で生まれたものと言われています。年忌法要の数え方は諸説ありますが、いずれも、年忌の根拠は仏教、儒教、わが国の習俗なども加わり歴史的に成立し、鎌倉、室町時代には今のような年忌法要が営まれるに至りました。

一周忌の翌年に三回忌

年回法要の数え方は、亡くなられて一年後の命日を一周忌といい丸一年をまわったということの意味しています。二年目の命日は、二周忌とは言わず、三回忌と言います。これは、亡くなった日が一回目の忌日、丸一年目が二回目の忌日、丸二年目が三回目の忌日と

あることから二年目の命日を三回忌と呼ぶのです。

法要の日程

年回法要の日取りは、しきたりでは命日に営むとされてきましたが、現代の生活の中では様々な事情により命日に営むことができないことも多々あります。そのような場合、一般に、命日に近く、また命日にあたる日より早い日に法要を営まれます。そのような時でも、実際の命日にも仏壇へ線香、花ロウソクなどをお供えして、家族で合掌礼拝しお参りしたいですね。

一年に数回の法要が重なった場合

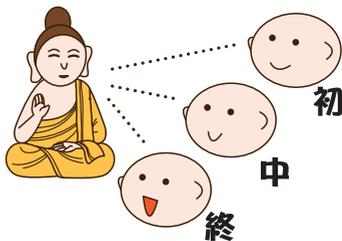
例えば、「今年は、祖母と父の命日が重なってしまった」など一年のうち何回かの法要が重なってしまうことがあります。本来は、お一人お一人の命日に法要を営むものですが、現実問題としては、そうは行かない場合も多いものです。二つ以上の法要を同時に営むことを併修と呼び、同じ年の法要を併せて営むことがあります。しかし、その場合でも一周忌とできれば三回忌までは他の法要と同時に営むことは避けるのが望ましいでしょう。

暮らしの中の 仏教語

「しょっちゅう」

「あいつはしょっちゅう遅刻する」「あの子はしょっちゅう叱られている」など始めから終わりまで、いつも、常に、ということを「しょっちゅう」といいますが、これは、お釈迦様が弟子たちに法を説く時、「初めも善く、中ほども善く、終わりも善く」正しくわかりやすい法を説くように諭された言葉に由来すると言われています。（「正法を演説したもうに、初善、中善、後善なり」—法華経—）この「初中終（しょちゅうじゅう）」が訛って「しょっちゅう」となりました。

現代では、悪い時の表現に多く使われる言葉、本来の語源を考えると善い事の表現に使いたいものですね。



■西願寺大施餓鬼会法要のご案内■

先祖追福のために、また一切の生物の霊を慰め、あわせて自分自身の福德延寿を願う法要であるお施餓鬼は、年に一度の大供養法要ですので、万障お繰り合わせのうえ、ご出席ご参詣いただき御仏前にご焼香供養ください。

日時 平成28年8月18日（木）

13時より余興（落語）

14時より法要

場所 西願寺本堂



●お施餓鬼

施餓鬼会は、「救拔焰口餓鬼陀羅尼經」というお経に説かれた阿難尊者の話しに由来しています。

施餓鬼棚に「三界万霊牌」や初盆の戒名を記した位牌を置き、浄水や食物を供え、五如来の「施餓鬼幡」を立てて法要を営むのが習わしです。



当日は、

恒例となっている埼玉県草加市出身の三遊亭春馬師匠の落語もあります。是非、間近で聞く落語をお楽しみください。

◆お盆会／合同新盆供養のご案内◆

日時 平成28年8月7日（日）10時～

場所 西願寺本堂



各行事の参加申込・お問合せは
西願寺までご連絡ください

TEL. 048-925-1723

FAX. 048-925-1789

西願寺別時念佛会のご案内

こころの安らぎともなるお念佛をご一緒にお唱えしませんか？

日時／毎月25日

18時より

場所／西願寺本堂



■参加申込について

事前にご連絡をお願い致します。

当日でも大丈夫です。

お気軽にご参加ください。

※当日灯明料をご奉納願います。

掲 示 板

メモリアルフラワーアレンジメント

大切な方のご遺骨をご納骨する時や周忌法要・命日・お盆・お彼岸等の墓参の際に墓石の廻りにお花を飾り華やかにするフラワーアレンジメント。

彩の都メモリアルパークでは「メモリアル フラワーアレンジメント」のお申込を受け付けております。



洋型Aタイプ



洋型Dタイプ 外柵アレンジ



和型Bタイプ シキミアレンジ



お申込み・お問合せ／彩の都メモリアルパークあすま会館

TEL.048-921-4194 FAX.048-921-1495

Q & A

Q お盆の時期になると、盆提灯が売られているのを見かけます。光で照らされた絵柄がクルクルまわるものもあって綺麗ですが、何の為に盆提灯を飾るのですか？

A 盆提灯には、迎え火・送り火の役割があります。お盆のときにご先祖様が迷わず自宅に帰ってくる目印として仏壇の周辺や玄関先などに置きます。また、盆提灯は、故人の冥福を祈り、感謝の気持ちを込めたお盆の供養を表すものでもあります。

新盆の際は「白紋天」と呼ばれる、柄や家紋などが一切描かれていない白地の提灯を飾りますが、2回目以降のお盆では、柄が描かれたものや回転灯が内臓されたものなど様々なタイプの盆提灯が使用されます。



■ **お便り募集** ■
編集部では皆さまからのお便りを募集しております。仏事の疑問や悩みごと、身近なできごとや日頃感じていること、川柳など、ぜひお気軽にお寄せください。

◆ イオ株式会社

西願寺・彩の都メモリアルパーク通信「さんが」編集部
東京都千代田区飯田橋四・七・十一カクタス飯田橋ビル7F
FAX 03 (3220) 1600 Mail: info@io.co.net

■ **次号予告** ■

次号は平成二十八年九月発行予定の「秋のお彼岸号」です。



◆編集後記

今年の朝顔市とほおずき市はいつだろう？ そんな事を考える季節になりました。お寺での夏といえばお盆ですが、盆踊りの起源はお釈迦さまの十大弟子の一人である目連尊者が餓鬼道に墮ちた母を救うことが出来たことに感極まって踊ったことから言われています。子どもの頃は、盆踊りと仏教を結び付けて考えることなどありませんでしたが、意識してみると、あれもこれも：私たちの生活は仏教と密接に関係してお寺や仏教はとても身近な存在なのだ気づきます。今号の「さんが」では、「私のお寺」と題して皆さんの中にあるお寺との関わりを考えてみました。自分のお寺を知ることが身近に感じ、心の拠り所とできることなのかもしれません。

さてさて、スイカでも食べながら夏の予定を考えよう。

発行者

遊馬山一行院 西願寺

〒三四〇〇〇三二 埼玉県草加市遊馬町四三〇番地

電話 〇四八一九二五一一七三

FAX 〇四八一九二五一一七八九

彩の都メモリアルパーク

〒三四〇〇〇三二 埼玉県草加市遊馬町二六〇一九

電話 〇四八一九二二一四一九四

FAX 〇四八一九二二一四一九五

企画・編集・製作

西願寺 丹羽義昭住職

イオ株式会社 西願寺・彩の都メモリアルパーク通信

「さんが」編集部